

－医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください－

電子添文改訂のお知らせ

2025 年 5 月

日本バイオテクノファーマ株式会社

抗ウイルス剤

処方箋医薬品

テボックス®カプセル 200mg

TEPOXX®Capsules 200mg

標記製品につきまして、自主的に添付文書を改訂しましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては、改訂後の添付文書をご参照くださいますようお願い申し上げます。

【改訂内容】(改訂箇所のみ抜粋)

改訂後 (____部改訂)					改訂前				
16. 薬物動態					16. 薬物動態				
16.1 血中濃度					16.1 血中濃度				
薬物動態パラメータ					薬物動態パラメータ				
評価 時点	C _{max} (µg/mL)	AUC _{0-12h} (µg·h/mL)	T _{max} (h)	t _{1/2} (h)	評価 時点	C _{max} (µg/mL)	AUC _{0-12h} (µg·h/mL)	T _{max} (h)	t _{1/2} (h)
1 日目	1.73±0.330	9.70±1.92	4.00 [4.00,16.0]	—	1 日目	1.73±0.330	9.70±1.92	4.00 [4.00,16.0]	—
14 日目	1.94±0.515	12.6±3.26	4.00 [0.00,8.00]	16.4±5.98	14 日目	1.94±0.515	12.6±3.26	4.00 [4.00,8.00]	16.4±5.98
18. 薬効薬理					18. 薬効薬理				
18.2 <i>In vitro</i> 抗ウイルス活性					18.2 <i>In vitro</i> 抗ウイルス活性				
テコビリマトは、細胞培養系を用いた試験において、バリオラウイルス、エムボックスウイル					テコビリマトは、細胞培養系を用いた試験において、バリオラウイルス、エムボックスウイル				

(次項に続く)

ス、ウサギ痘ウイルス、牛痘ウイルス及びワクチニアウイルスに対して抗ウイルス活性を示し、細胞変性効果を指標とした 50%有効濃度 (EC50 値) は、それぞれ 11～67、<u>0.01137</u>～39、14、20～210 及び 7～10nmol/L であった。	ス、ウサギ痘ウイルス、牛痘ウイルス及びワクチニアウイルスに対して抗ウイルス活性を示し、細胞変性効果を指標とした 50%有効濃度 (EC50 値) は、それぞれ 11～67、0.0137～39、14、20～210 及び 7～10nmol/L であった。
--	--

* 最新の添付文書情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ (<https://www.pmda.go.jp>) および弊社の医薬品サイト (<https://www.japanbiotechnopharma.com>) に掲載致しますので、併せてご参照下さい。

【お問い合わせ先】

日本バイオテクノファーマ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 2-6-13

TEL:03-6231-0850 (9:30～17:00 土日・祝日・年末年始を除く)

E-mail : info@japanbiotechnopharma.com